

8-4-39 PM専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) PM 専門委員会の開催

主に建設コンサルタントがインフラ整備事業における PM/CM 方式や事業促進 PPP 方式等のマネジメント業務へ参画し、業容の拡大を図ることを目的として、令和 6 年度の専門委員会を 10 回開催した。

(2) 令和 6 年度マネジメントセミナーへの参画

マネジメントシステム委員会傘下の専門委員会として参画した。

a) セミナーの概要

- ・開催日：令和 6 年 10 月 3 日（木）
- ・場所：ハイブリッド＋見逃配信方式
- ・聴講者数：1,547 名（アンケート回答者数）

b) PM 専門委員会対応個所「CM 方式の更なる活用に向けて」

- ① CM 方式の必要性として、改正品確法や国土強靱化などの社会的な背景について図表を交え基本的な概念や考え方を解説した。併せて、品質・担い手の確保、生産性の向上から CM 方式を活用したマネジメントが期待されていることを説明した。
- ② CM 方式の概要として、「発注者を支援する方法の種類と相違」、「マネジメント業務（CM 方式）の効果」について図表を交えて基本的な概念や考え方を解説した。
- ③ 発注者アンケート調査結果を参考にマネジメント業務に必要な能力などを紹介し、受注者に期待される行動の事例を紹介した。
- ④ 地方公共団体から発注された 5 業務について、公示資料をもとに、業務概要、CM 方式の導入状況、発注仕様など多様化する事例と其中で求められる役割等を紹介した。
- ⑤ PM 専門委員会の「講師派遣制度」の活用、協会本部と支部の連携による「仕組みや運用の改善提案」、会員企業による「自社の強みを活かした提案行動」等、CM 方式の更なる普及に向けた取組を紹介した。

(3) PM セミナーの開催

a) セミナーの概要

- ・開催日：令和 6 年 11 月 25 日（月）
- ・場 所：オンライン方式
- ・聴講者数：267 名

b) 講義内容

- ① マネジメント業務の基本的な知識の習得に向け、マネジメント業務の概要等を解説した。
- ② 国土交通省より、CM 業務の近年の動向や業務事例等をご講演いただいた。
- ③ CM 業務の事例紹介として「熊本地震における南阿蘇鉄道震災復旧マネジメント業務の取り組み」を紹介いただいた。
- ④ マネジメント業務の普及に向けた業務経験者によるパネルディスカッションを行った。

(4) 講師派遣、発注者との意見交換会

令和 6 年度は、CM 協会関西支部（12/19）と CM 業務の拡大について、岐阜県瑞穂市（2/6）と CM 業務の導入可能性や導入時の留意点等について意見交換を実施した。

(5) 事業促進 PPP 方式に対する国との意見交換

国土交通省大臣官房技術調査課と GDL に対し、アンケートやヒアリング等による事例分析結果を基に、令和 6 年度は WG を 2 回実施した。

2. 次年度の活動について

- (1) マネジメントセミナー及び PM セミナーの開催を通じて、CM 方式等に対する知見の習得と導入の促進を図る。
- (2) 発注者に対して 4 年に一度のマネジメント業務に対するニーズ調査を実施し、セミナーや支部との意見交換等に活用する。
- (3) CM 方式等の導入事例のモニタリング・分析・評価を行い、専門委員会が策定した CM 方式活用の手引き（案）の改定や国等への要望と提案の基礎資料として活かす。
- (4) 地方公共団体等への PM/CM 講師派遣の継続、土木学会との連携を通じて、CM 方式等の普及に努める。
- (5) CM 方式の活用の手引き（案）の改定に向けた作業準備を進める。

（PM 専門委員会委員長 松田 千周）